

茶園を提供してくれた和田安久さんの手ほどきを受け
楽しそうに新茶を摘んでいました



新茶のいい香りがするよ

三ツ星保育園の園児14人が茶摘み体験

三ツ星保育園のにじ組（年中児）14人が5月1日、田野口の和田安久さんの茶園で茶摘みを体験しました。

園児たちは安久さんからびくを手渡されたあと畑に入り、思い思いの摘み方で茶摘みを楽しみました。

安久さんは「お茶は1芯2葉で摘むのが基本ですが、今回は小さい子たちですから、摘み方にはこだわりません。お茶はこの町の基幹産業であり、この季節の風物詩です。まずはお茶と楽しく触れ合ってもらうことが大事。この子たちが大人になった時、1人でも2人でも、今日のことを思い出してくれたらうれしいです」と話していました。

新茶を摘む園児たちは、「お茶のいい香りがする」「たくさん摘めたよ！」など、楽しそうな声が飛んでいました。

今回摘んだお茶は、安久さんのご厚意で製茶され、後日保育園に届けられること。園児たちも先生たちも、お茶が届くのを心待ちにしている様子でした。

この町に起った
新鮮な「ネタ」を皆さんのもへ。
この次に登場するのは
あなたかも!?



澤村泰子さん
叙勲はご家族に伝達されました。写真は妻の

数々の功績に敬意を表し

故澤村迪男さんご家族に叙位叙勲伝達

今年2月6日に逝去された澤村迪男さんに対し、叙位 従五位・叙勲 瑞宝双光章が授与され、4月にご家族の元へ届けられました。昭和40年4月に相良小学校で教職生活を始め、平成15年3月に中川根第一小学校で退職を迎えるまで、地域に根ざした教育活動、子ども一人一人に応じた教育活動に全精力を注いでこられました。学校教育の向上のため尽力された功績が認められ、このたびの受章となりました。

地域を再発見する学び舎

千年の学校第8期開講式・46人が入学

地域の歴史・文化・風土・産業を学び、人づくり・魅力づくり・活力づくりを目指して活動する千年の学校は4月18日、北部地域振興センターで第8期の開講式を開催、46人の学生が入学しました。

式典では入学生代表の蘭田民子さん（上長尾）が、「本町を離れて住む娘たちが故郷の良さを再発見したように、わたしも千年の学校を通じて、わが町の魅力を再確認しようと思う」と力強く決意を述べました。



代表の言葉を力強く述べる蘭田民子さん（上長尾）



多くの道徳ファンが別れを惜しみました

豊かな森へと願いを込め

山犬段でブナなど苗木植樹・森レ推協

森林レクリエーション推進協議会（杉山嘉英会長）はこのほど、山犬段でブナとエゾザクラの苗木を植樹しました。本町の自然環境や水源地を保全するために実施された本事業。中部電力㈱大井川電力センター（寺本達也所長）から寄贈された苗木計150本を、同協議会と中部電力㈱が協力して植樹しました。植樹参加者たちは「苗木がすくすくと育って、立派な木になってほしい」と話していました。

畑仕事や茶摘みなど体験

ちゃっかり娘養成講座今年もスタート

都市部に住む独身女性を対象としたちゃっかり娘養成講座の本年度第1回は5月2日から3日の2日間、地名の農林業センターなどで実施されました。本講座は今年で4年目。県内外から17人の女性が参加しています。1日目は、畑で春まき野菜の種・苗植えの作業。2日目は、青部の援農隊（町内の協力者）の茶園で茶摘みを体験しました。この日摘んだお茶は、次回の養成講座の中で受講生に振る舞われるということです。



受講者たちが真剣にくわをふるっています。1日目の畠仕事にて

南アルプスあぶとライン（大井川鐵道（株））の車両の中で、主に千頭ー川根両国間をイベント列車かわかぜ号として運行していたDB1形ディーゼル機関車が3月28日、ラストランを迎えました。あぶとラインでは3月29日からATS（自動列車停止装置）の運用が始まり、この装置を装着できないDB1形は、乗客を乗せての運行ができなくなるためです。

DB1形は昭和27年に製造され、井川、奥泉、畠薙第一、第二の各発電所建設時に、資材の運搬や沿線住民の足として活躍しました。また、全長約5m、重量8tの小さな車体は、多くの鉄道ファンの人気を集めています。ラストランでは、県内外から集まった鉄道ファン60人を乗せ、日本一の高さを誇る関の沢鉄橋などで撮影会を催しました。終点の千頭駅では、約300人の鉄道ファンがカメラ片手に待ちわびており、転車台に乗せての撮影会が催されるなど、大勢の来場者がかわかぜ号との別れを惜しました。

おつかれさま「DB1形」

イベント列車かわかぜ号がラストラン



Topics

川根本町の まちの話題